

## 2 子宮頸がん検診 子宮頸がん検診結果の推移

	H5	H28	H29	H30	R1	R2
対象者数	570,000	880,509	992,277	985,749	977,669	<b>968,699</b>
受診者数 (受診率算定に用いる受診者数)	101,435	73,760 (135,947)	70,825 (133,451)	69,566 (129,358)	69,212 (127,132)	<b>57,954 (118,882)</b>
受診率(%)	17.8	15.4	13.4	13.1	13.0	<b>12.3</b>
市部 市部・ 町村部 別受 診状 況	市部対象者数 市部受診者数〔当年度〕 (受診率算定に用いる受診者数)	370,172 55,139 (129,508)	846,409 70,193 (127,106)	957,733 67,388 (123,606)	951,710 66,209 (121,584)	<b>944,204 65,953 (113,667)</b>
	受診率(%)	14.9	15.3	13.3	13.0	<b>12.9 12.1</b>
町村部 別受 診状 況	町村部対象者数 町村部受診者数〔当年度〕 (受診率算定に用いる受診者数)	199,828 46,296 (6,439)	34,100 3,567 (6,345)	34,544 3,437 (6,345)	34,039 3,357 (5,752)	<b>33,465 3,259 (5,548) 33,032 2,656 (5,215)</b>
	受診率(%)	23.2	18.9	18.4	16.9	<b>16.6 15.8</b>
要精検者数	342	1,645	1,434	1,518	1,388	<b>1,121</b>
要精検率(%)	0.3	2.2	2.0	2.2	2.0	<b>1.9</b>
精検受診者数	335	1,354	1,200	1,269	1,198	<b>965</b>
精検受診率(%)	98.0	82.3	83.7	83.6	86.3	<b>86.1</b>
がんであった者	72	46	43	21	9	<b>10</b>
がん発見率(受診者10万対)	71.0	62.4	60.7	30.2	13.0	<b>17.3</b>
陽性反応適中度(%)	21.5	2.8	3.0	1.4	0.6	<b>0.9</b>
異形成者の LSIL(CIN1) HSIL(CIN2,3,2と3の区別できない者)	101 (54) (94)	598 (384) (247)	451 (307) (180)	302 (221)	300 (187)	<b>(220) (147)</b>
精検未受診者	26	291	234	249	190	<b>156</b>
精検結果未把握	7	137	51	25	55	<b>47</b>

※報告市町村単位は、原則として毎年4月1日現在市町村。(年度前半の合併の場合など一部を除く)

※H17年度より、受診間隔が2年に1回となった。

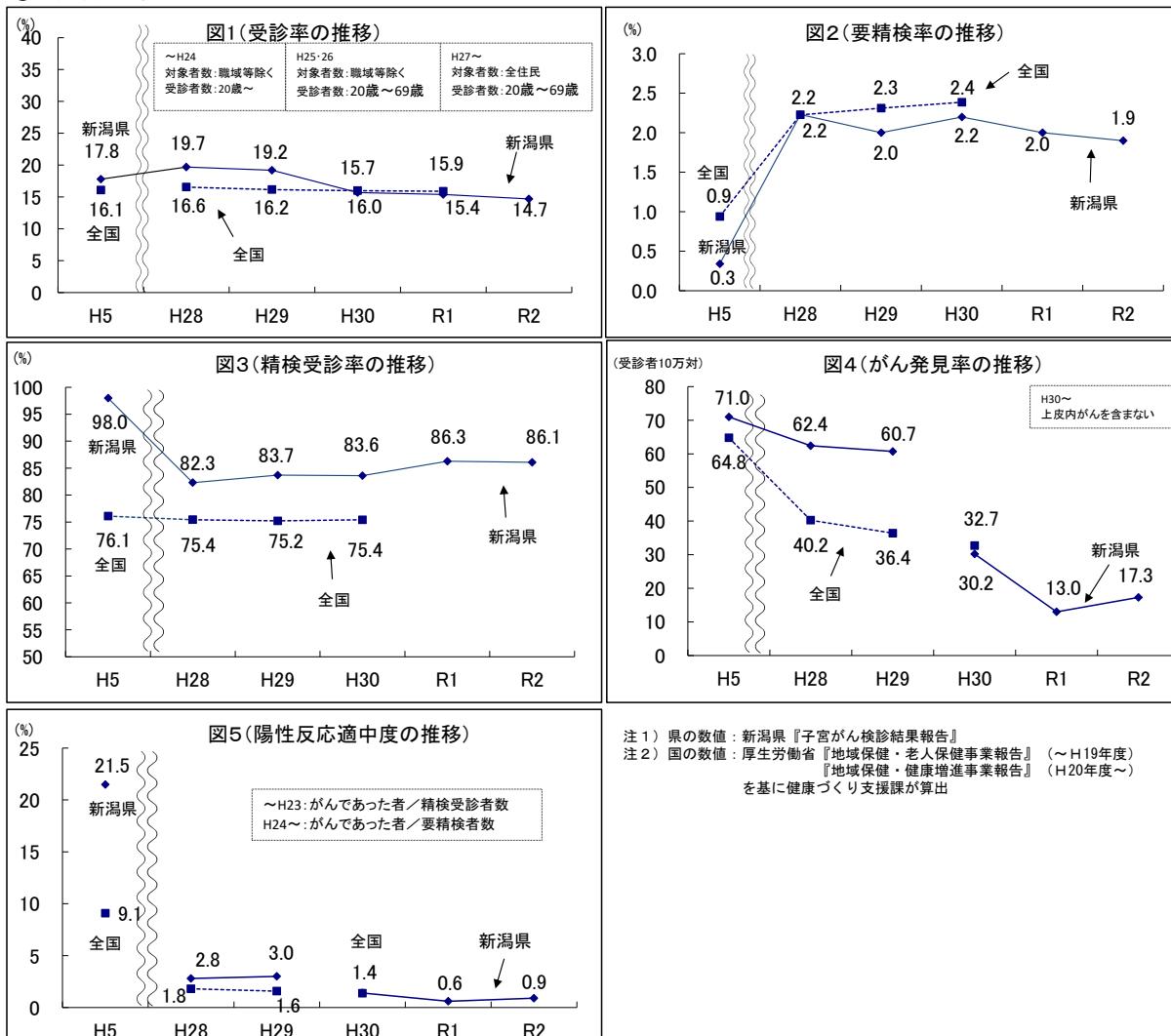
※受診者数の( )内の数値は、受診率算定に用いた受診者数。

H17以降：受診率＝(当該年度受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数)÷対象者数×100

※対象者数は、受診間隔を年1回とした場合の人数である。

※H30年度より、「子宮頸癌取扱い規約第4版」に基づき組織学的分類が変更され、「がんであった者」に上皮内がんを含まない。

### ○子宮頸がん検診



注1) 県の数値：新潟県『子宮がん検診結果報告』

注2) 国の数値：厚生労働省『地域保健・老人保健事業報告』(～H19年度)  
『地域保健・健康増進事業報告』(H20年度～)  
を基に健康づくり支援課が算出